



# あゆみ

No. 187

令和 8年 1月15日発行

編集 発行: 社会福祉法人 啓明会 苔山寮・第二苔山寮  
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680  
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090  
E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp  
社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>  
インスタグラム「れいざんの元気元気日上り」毎週火曜日更新中



本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます



## 『年頭所感』

施設長 鮑田 一夫

きて い ま す。

新年おめでとうございます。二年前の元旦、能登半島地震のニュースに驚き心配してから既に丸二年が過ぎたのかと思うと、時の流れの速さに驚嘆します。今年の元旦は大きな災害が起きずに良かったと安堵していたのも束の間、米国によるベネズエラ大統領の拘束という国際法を無視したような暴挙に、今は本当に二十一世紀なのだろうかと我が目を疑いました。

最近の国際情勢を見ると、戦後八十年ほど平穏に過ぎてきた世界が一機に動き出しそうな変化を感じているのは私だけではないと思います。ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザの制圧、トランプ大統領の国際秩序を無視したような振る舞い等、自己の利益を優先し他者を排除しようとする風潮が全世界に広まりつつあります。

者の方々が幸運を実感してくれてることを私達が感じることがで

きた時ほど幸せな瞬はあります。私はこの仕事が好きです。誇りにも思つてきましたが、最近は更に、利他を優先するという思想を実行しているこの仕事が、この厳しい世界においてはとても重要な役割を果たしているのではと思うようになりました。今年も利用

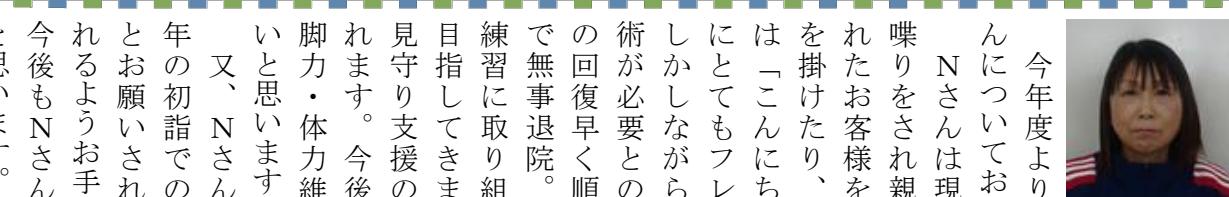
# サービスの現場より



## 『夢を持つ』

蒼山寮支援課長 吉鶴 かおり

三ヶ月となりました。重点目標である「夢を持つ」に向かって支援に取り組み、利用者の方やご家族との繋がり・行政や職員との繋がりについても自分自身、昨年度の反省を踏まえながら前向きに捉え進めています。しかし中には失敗する事もあり更に反省する事もありますが、自分に不足しているものと捉え成長する上では必要な事と考えています。利用者の方との関りの中では、会話は中々成立しない方も多くおられます。ですが、横に座り「どうですか」と声をかけるとその人なりの言葉が自然に出てきます。「かいもん(買物)」「にく」「さしみたべたか」「いこい(行こう)」等、それぞれの思いを伝えられます。その思いは数日前に実行されても再度伝えられる事もあり、その方にとつては大切な事として各担当へ伝え、また行う事で更に満面な笑顔を見せ「いつてきた」と話されています。利用者の皆さんには「夢」を伝える事が難しくても何らかの夢を抱いておられると思っています。

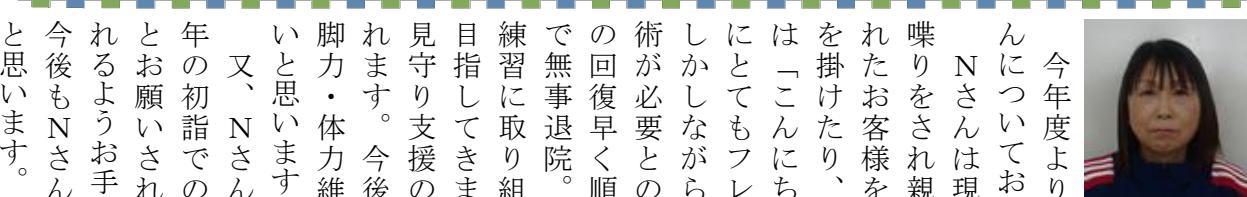


## 『担当利用者さんへの取り組み』

蒼山寮支援副主任 元島 加良子

今年度より私が担当させて頂いているNさんについてお話し致します。

Nさんは現在七十歳、誰とでも気さくにお喋りをされ親しみやすい方です。施設へ来られたお客様を見掛けると自分から積極的に声掛けたり、施設周囲の歩行中すれ違う方に「こんにちは」と笑顔で挨拶をしたりと皆は「こんにちは」と笑顔で挨拶をしたりと皆にとてもフレンドリーに接して下さいます。しかしながら昨年、不慮の転倒事故により手術が必要との事で入院となられました。術後の回復早く順調にリハビリを終えて一ヶ月程で無事退院。退院後は手摺りを使用した歩行練習に取り組み、以前の歩行状態へ戻す事を目指してきました。退院から五ヶ月、今では見守り支援のみで自由に歩く事が出来ておられます。今後の目標としては年齢を考慮した脚力・体力維持に努める支援を継続してきたいと思います。

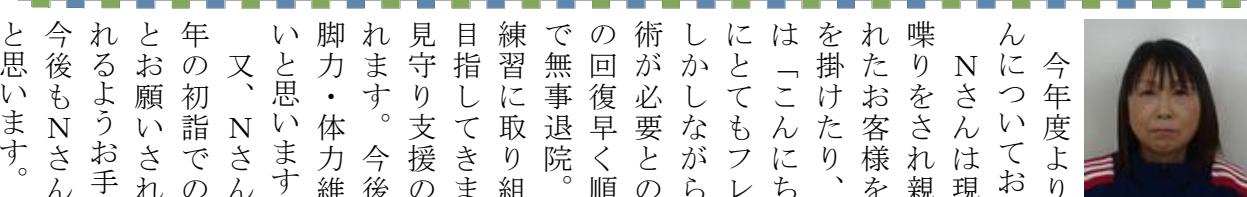


## 『担当利用者さんへの取り組み』

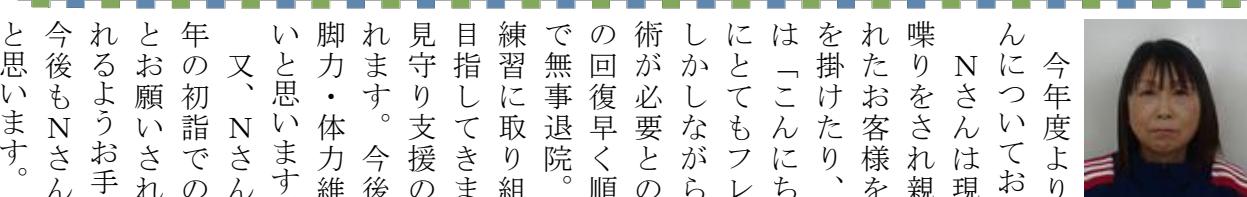
第二蒼山寮支援副主任 高辻 啓太

私が担当させていただいているSさんのお話しをさせていただきます。

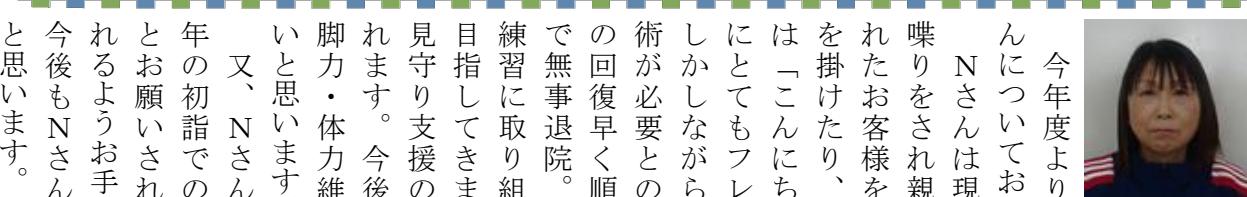
Sさんは五十歳代で自閉症の方です。少しずつ認知症状の方も見られる様になり、日中活動への参加拒否や夜間の無断外出などといった行動が夏の終わりから秋頃にかけて見られました。そこで、支援課長や他職員の方々と話し合い、どうしたらSさんが楽しんで活動に参加してもらえるか?心身の安定に繋がるのか?検討しました。



話し合いの結果、これまでの「皆さんと一緒に同じ活動を頑張ってしましよう」と言う声掛けから、Sさんの大好きな「ちり紙折り」を活動の中に取り入れ、「自分のしたいことを頑張ってみましょう」という声掛けに変更して実施しました。すると、Sさんの気持ちも安定し、前記のような行動も殆ど無くなりました。また、ちり紙は利用者の方も職員も皆が使用する物なので、皆のために頑張らなくてはいけないという使命感も生まれ、今まで以上に集中して活動に取り組まれ、充実した明るい表情が見られる様になりました。



これからもSさんの希望に添った活動を取り入れながら支援していかなければと思います。



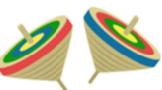
# 新春企画 (今年の抱負)

2026年もやります、新春企画！

牛年生まれの年男・年女の皆さん  
に新年の抱負を聞いてみました♪



あけまして  
おめでとう  
ございます



現場を支える立場を忘れず、安定感と行動力のある一年にします。

苓山寨支援主任 菊地 泰博  
(昭和53年生まれ)

牛年にちなみ、公私共に行動力を大切にし、着実に前進する1年にして参ります。

第二苓山寨副施設長 館田 公博

(昭和29年生まれ)

年の終わりに一年を振り返って良い年だったと思えるような一年になるよう日々努めていきたいと思います。

第二苓山寨課長補佐 株野 勝

(昭和41年生まれ)

還暦になります。何事もウマくいく年となるよう頑張りたいと思います。

苓山寨支援員 岡部 来碧  
(平成14年生まれ)

右も左も分からぬまま初めての職に就いて2ヶ月が経ちました。1日でも早く仕事を覚え、苓山寨に貢献できるようキのないように突っ走っていきたいです。

苓山寨看護師 園田 リエ

(昭和53年生まれ)

50歳を目前にして、健康の維持や体力向上を、施設の利用者さんと一緒に取り組んでいけたらと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

第二苓山寨支援副主任 高辻 啓太

(平成2年生まれ)

入職し10年を超え11年目になります。中堅になりましたので今まで以上に責任感を強く持ち、後輩の育成にも取り組んでいきたいです。

# クリスマス会

12月12日

今年は数年ぶりに両施設合  
同での開催となりました。

ボランティアでルーチェの皆さんのが来てください、大きな紙芝居やギターの演奏、きれいな歌声を聞き皆さん大盛り上がりでした。「この歌知ってる。クリスマスの歌ね。」「上手ねー。」と口にされ、クリスマス気分を味わう事が出来ました。最後にはサンタさんが登場！一人一人にプレゼントが手渡され、笑顔の絶えないクリスマス会になりました。



## 餅つきOPカフェ 12月26日

当日は寒波と重なり時折雪が散らついていました。

暖かいホールの中からも見える場所で餅つきを行い、利用者の方に見て霧囲気を楽しんでもらえればと思っていましたが、数名の利用者の方は寒さものともせず、外へ出て職員と一緒に「よいしょー」の掛け声と共に寒さも吹き飛ばす程元気よく餅をついて下さいました。つき上がった餅はオープンカフェの行事としてお召し上がり頂きました。また、屋内では餅つきを疑似体験して頂けるよう、小麦粉粘土で作ったミニ餅つきも大変好評でした。



## 鬼火焚き 1月7日

鬼火焚きは正月飾りについてきた鬼（悪霊）を追い払うという言い伝えがあります。

当日は天候にも恵まれ正月飾りで使用した門松の材料やしめ縄を燃やし、勢いよく燃える炎にあたりながら1年の無病息災を皆で祈りました。利用者の方々も最後まで楽しまれていた様子でした。これで1年間健康に過ごして頂けると思います。



【祝成人】



山下 稜さん  
(芥山寮)

永濱 理音さん  
(第二芥山寮)



ご成人おめでとうございます。  
お二人のこれから  
お人生がますます  
の素晴らしいものになり  
ますように

日常生活の風景

渡部 結水さん



三月で二一歳になられま  
す。好きな音楽が流れてい  
ると、元ファイギュアスケ  
ートの浅田真央さんのように

クルクルと回り、身体全体を使い喜びを表現  
されます。得意な事は月のスケジュールや献  
立、物の配置などを一瞬で記憶される事です。  
例えば、多目的ホールでの行事後の片付け  
では現場監督となり、元の配置になる様、職  
員に助言して下さいます。食事も楽しみのひ  
とつであり、何度も食堂へ足を運ばれます。

今後の施設生活においても本人の強みを活か  
し、楽しく過ごして頂ける様に支援していき  
ます。

お正月御膳



- ・お吸い物
- ・あおさ入りすり身団子の  
お品書き
- ・春き寿司、いなり寿司
- ・鴨のロースト
- ・あじフライ、えびフライ  
(タルタルソース付)
- ・サニーレタス、ミートマト  
・卵焼き
- ・焼きそば
- ・ワッフルのまクリームのせ

今年も利用者の皆さまと共にお正月を迎  
くことができました。元旦の昼食は、皆さま  
がお好きなものを集めた御膳です。食堂へ来  
られた利用者の方が、「わあ～スッゴいね～！」  
と歓声をあげられ、いつもは食の進まない方  
もほとんど完食してくださいました。

本年もお楽しみの給食を安心安全で美味し  
く提供できるよう全員で取り組みます。



嶽坂 安男さん

今年八二歳を迎える嶽坂さ  
んは四年前にグループホーム  
から第二芥山寮へ入所されました。  
優しい笑顔がトレンド  
マークで親しみを込め「たけちゃん」という愛  
称で利用者の皆さんから呼ばれています。

昨年十二月には、故郷である球磨郡五木村へ  
行つてきました。約一年ぶりに甥っ子さんにお  
会いして、元気な姿をお見せする事が出来ま  
した。これからも、日常の散歩や体操を通して、  
外出が楽しめる体力づくりに繋がればと考えて  
います。

新年あけましておめでとうございます。当施設  
も皆様のおかげをもちまして、無事に新年を迎  
えることができました。さて、早いもので一月も  
半ばとなりましたが、族皆さまはいかがお過ごし  
でしょうか。令和八年にこそなりましたが我々は  
令和七年度の重点目標として「夢を持つ」を掲げ、  
引き続き支援にあたらせていただいております。  
ご利用いただいている皆様が新しいことに挑戦し  
ながら今以上に毎日楽しく生活していくよう尽  
力しております。本年も昨年同様たくさんの行事  
を予定しております、今後もご家族、地域  
関係者等の皆様へこの広報紙を通じて  
ご紹介いたしますので、本年もどうぞ  
よろしくお願いいたします。



【お悔やみ】

金子 順子さん (芥山寮)

長年、当施設を利用して下さいま  
した。明るい笑顔を忘れません。  
心よりご冥福をお祈り致します。